



第22回「Qの会」

研修会・総会報告

6月26日香川大学において平成28年度「Qの会」総会・研修会が開催されました。今回のテーマは「高齢糖尿病患者への支援」で講演とグループディスカッション（ディベート形式）を行いました。

講師は、「高齢者の生活を支えるための資源とその活用」について、高知県立大学社会福祉学部井上健朗先生、「高齢者の血糖コントロール」について、吉田内科クリニック吉田和矢先生をお迎えしました。井上先生は、2025年問題について話され改めて高齢者問題の難しさを実感しました。また高齢社会を踏まえた社会福祉制度や資源について学ぶことが出来ました。吉田先生は高齢者特有の認知機能の障害や、サルコペニア・骨粗しょう症に視点を置いた血糖コントロールのポイントについて学びました。

総会では理事会・事業・会計報告が行われ、平成28年度の事業計画予算案が可決されました。

研修会アンケート結果

第22回研修会参加人数60名のうち48名より回答をいただきました。参加したきっかけは「CDE単位取得のため」「テーマに興味があった」「専門性を高めるため」「看護実践において問題を解決するため」がほとんどでした。

講演講師については、講演「口とおおいに良かった」「良かった」で100%でした。その理由は「現場で困っている内容であり、すぐに実践で生かせる」「介護保険の申請からサービス利用、地域包括支援について幅広く学べた」「高齢者認知症の検査やサルコペニア対策などが勉強になった」という意見でした。

グループディスカッションの事例・内容については「おおいに良かった」「まあまあ良かった」が100%でした。事例については「今後増えると思われる事例だった」「高齢者のインスリンの是非は関心があった」「内容については「自分の意見と違っていても設定に従い話し合いいろいろな意見が聞けた」「ディベートするならば自分の意見のチームで話し合い良かった」「1回目2回目のク

ループディスカッション内容に大きな差はないように思えた」「論点の整理をしてくれたのは分かり易くなり良かった」という意見でした。今後の研修会のテーマについては「中断患者へのアプローチ」「糖尿病治療の最新線」「糖尿病教育入院について」でした。



第23回「Qの会」研修会の1)案内

日時：10月23日(日) 13時から16時30分  
場所：香川大学医学部看護学科3階 305教室  
メインテーマ「療養生活を支えるフットケア」  
講師：香川労災病院 糖尿病看護認定看護師 西原 環先生

高齢糖尿病患者における社会資源の活用を学んで

さぬき市民病院 嶋崎久美・好川公子  
吉田先生、井上先生の講演は、現在の高齢者糖尿病最新治療、生活を支えるための社会資源活用、医療福祉が抱える共通課題ととも興味深い講演でした。日々糖尿病患者と向き合いCDMとして指導を行う上で「この指導でよかったのか」と思い、考える事も多々あります。今回の事例検討では初めてのディベート形式によるグループディスカッションにて患者の自尊心を大切にすることや経済面への配慮も必要であると意見が出されました。今後高齢者が増加する中、患者、家族を中心に私たち医療者、及び支援者が連携し合い患者の思いを尊重し、退院後もその人らしい生活（人生）が遅れる福祉サービスを踏まえたケアプランを考慮しなければならぬと感じました。今回の研修に参加する事で悩み解決の糸口や、入院前から患者に関わりトータルマネージメントするCDMを学ぶ事が出来ました。今後の患者指導にフィードバック出来るよう、知識向上に努めていきたいです。

学会・研修会のご案内

- 認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会
- ★第21回日本糖尿病教育・看護学術集会：第1群または第2群 4単位  
日時：2016年9月18日(日) 19日(月・祝)
- 場所：山梨県立大池田キャンパス他
- ★日本糖尿病学会中国四国地方会第54回総会：第2群 4単位  
日時：2016年11月11日(金) 12日(土)
- 場所：高知県民文化ホール
- ★第16回中四国糖尿病研修セミナー：第1群2単位または第2群2単位(申請中)  
日時：2016年9月25日(日)
- 場所：あわぎんホール
- ★第51回糖尿病学の進歩：第2群4単位  
日時：2017年2月17日(金) 18(土)
- 場所：国立京都国際会館
- ★第17回中四国糖尿病研修セミナー  
日時：2017年3月12日(日)
- 場所：岡山コンベンションセンター

発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会

http://www.anokai.org